



日本早稲田大學台灣校友會

會 址：110060 台北市信義區松高路19號7樓

事務所：248022 新北市新莊區五權一路1號3樓之5

2023 年 8 月 吉日

會 長 吳昕陽

總幹事 鄭世維

2023 年 早稲田大學台灣校友會總會のご案内

拝啓 晩夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2023 年度の台湾校友會總會を、従来通りに開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

当日は、母校である早稲田大學の田中総長にご臨席賜る予定です。田中総長のご臨席により、更に壮大な雰囲気となり、一層盛り上がりを見せることを光榮に存じます。晩餐會の娛樂には、多くの人々に愛されてきた母校のアカペラの名門、グリークラブの現役學生をお招きし、ビッグイベントとなるでしょう。

また、翌日には日本と関わりが深い場所や、美的なデザインの建築物見学の台北市内観光ツアーも計画しています。詳細な内容は、別紙の案内をご参照ください。

コロナが明けてから、台湾への旅行者が急増しホテル予約が難しくなっています。そのため、お早めの總會参加申し込みと、航空チケットのご手配をお願いします。

この機会に、遠路はるばるお越しいただく校友の皆様が交流を深め、美声と共に楽しいひとときを過ごしていただければ幸いです。

敬具

記

1. 大会：
日時：2023年11月18日（土）
17：50～18：30 受付
18：30～19：05 開会式及び来賓挨拶
19：05～21：30 親睦夕食会
場所：台北福華大飯店 B2 宴會廳（台北市大安區仁愛路三段 160 號 B2）
費用：校友/ゲスト NT\$ 2,500 元/人
2. 観光ツアー活動：※ツアー一定員数は 40 名、先着順に受付いたします。
集合時間：2023年11月19日（日）09：00
集合場所：台北福華大飯店
ツアー費用：NT\$ 3,500 元/人（昼食・夕食込み）
3. ホテル予約：台北福華大飯店、部屋数に限りがありますので、ご了承ください。

参加申し込みは、貴会の代表者にて参加者を取りまとめて、メールや FAX などで申し込みフォームからお願いします。翌日の観光ツアー参加や、ホテルの代行予約の可否をお知らせください。9 月末頃までを目安に、申し込みをお願いします。

参加申し込みフォーム

ATTN：校友會事務局 新北市新莊區五權一路 1 號 3F 之 5 迄
FAX：+886-2-2298-8338 TEL：+886-2-2298-8336#388 MAIL：wasedaalumnitw@gmail.com

稲門会名称：_____ 代表者氏名：_____

e-mail：_____ 電話番号：_____

*下記該当する場合は○、該当しない場合は×をご記入ください。

NO.	お名前	ローマ字表記	役職	総会 参加	観光 参加	部屋タイプ (同室者)	宿泊 開始日	日数
1						A / B C()	11 月 日	泊
2						A / B C()	11 月 日	泊
3						A / B C()	11 月 日	泊
4						A / B C()	11 月 日	泊
5						A / B C()	11 月 日	泊
6						A / B C()	11 月 日	泊

合計：A. 標準シングル NT\$ 3,500 元/1 泊_____室、

B. デラックスシングル NT\$ 4,000 元/1 泊_____室、

C. ツイン NT\$ 4,500 元/1 泊_____室、

※ツインをご希望される場合は、同室される方のお名前を括弧にお書きください。

日程

陽明書屋（インフォメーションセンター）－ 北投図書館
－ 北投温泉博物館 － 北投水美温泉会館昼食 － 北投博物館
－ 少帥禪園 － 金蓬萊（ミシュラン1つ星）夕食



陽明書屋（インフォメーションセンター）
古木が繁り、緑が眩しいです。林のなかには無数の昆虫およびヤマムスメ、ゴシキチョウ、リスなどが棲息しています。「陽明書屋」はかつては「中興賓館」と呼ばれ、1970年に完成しました。蒋介石元総統逝去から四年後、中国国民党が歴史的資料をこの地に移し、孫文を始めとする建国の英雄や先賢たちのための歴史文物を集めた記念館とし、「陽明書屋」に改称したのです。

北投図書館

北投図書館は台湾初の環境に優しい「緑の建築」の図書館です。北投公園内にあり、北投温泉博物館に隣接しています。地上二階、地下1階の建物は、全体が環境に優しい構造となっており、屋根は軽量の材質で太陽光発電パネルが取り付けられています。また、緑化した屋根と傾斜部分の芝生は雨水が自然に回収槽に溜まる仕組みとなっています。



北投温泉博物館

北投温泉博物館は日本統治時代、「北投温泉公衆浴場」として大いに賑わっていました。公衆浴場は静岡県伊豆山温泉を手本に、当時5万6千円を投入して完成です。1923年には当時皇太子だった裕仁天皇が訪れるというので、さらに1万7千円をかけて増築し、和風と洋風をミックスさせたエキゾチックな大浴場が誕生しました。これ以後、北投公衆浴場は台湾を代表する温泉建築として、また東アジア最大の公衆浴場としてその名を馳せるようになります。



少帥禪園

少帥禪園は 1920 年に建てられ、元々は新高旅社であり、日本の台湾占領後期には神風特攻隊の慰安所として使用されていました。1960 年代の介石もここに住んでいました。木の壁とタイル張りの家が隠れています。北投の山腹の森の中に佇むと、この空気はちょっとした感傷に満ちているようです。木造の軒からは観音山を一望でき、悟りを開かれたときの興奮と喜びを感じることができます。



北投文物館

1920年代に建てられた台湾で現存する最大級の日本式純木造単独建築の一つです。日本統治時代には日本軍の軍官クラブで、一時は神風特攻隊のために使用されていたと言われますが、第二次世界大戦後は外交部の佳山招待所となりました。現在は個人の所有となり、民芸品や骨董が展示されています。ここにある茶室は1940年代に建てられたもので、小さいながら、滝のある伝統的な日本庭園は建築的価値が高く、文物館の建物と共に完全な建築群を形成しています。



金蓬萊（ミシュラン1つ星）

日本人が経営する高級料亭で働いていた陳氏は、終戦後「蓬萊食堂」を開き、素材の良さと他にはない味、そして絶妙の調理方法で食通に愛され、北投で高い地位を築きました。伝統的な「酒家菜」であり、「金蓬萊」の名物料理でもある「排骨酥」や「佛跳牆」類は、初代から受け継ぐ秘伝のレシピで今なお昔ながらの味を守り続けています。ミシュランでも1つ星を獲得したのです！

